

(別紙様式1)

令和元年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 埼玉県
農業委員会名： 上尾市農業委員会

I 農業委員会の状況(平成31年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	925	農業就業者数	648	認定農業者	27
自給的農家数	550	女性	344	基本構想水準到達者	6
販売農家数	375	40代以下	38	認定新規就農者	1
主業農家数	59	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	7
準主業農家数	86			集落営農経営	0
副業的農家数	230			特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※ 農林業センサスに基づいて記入。

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	普通畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	97	609				706
経営耕地面積	80	183	127	59	10	263
遊休農地面積	62.7	73.8				136.5
農地台帳面積	127.5	857.5	853.3	3.9		985

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	—							
女性	—							
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会

任期满了年月日 R 4年 4月 2日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	11	11			
認定農業者	—	6			
認定農業者に準ずる者	—	1			
女性	—	1			
40代以下	—	1			
中立委員	—	2			

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成31年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	706 ha	80.5 ha	11.4%
課 題	農家の高齢化や後継者の不足により、地域の農業を担う者が減少しており、地区の状況に合わせた担い手の育成を図る必要がある。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和元年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積	81.5 ha	(うち新規集積面積	1 ha)
	目標設定の考え方:利用権設定を勘案して設計。			
活動計画	関係機関と連携し、経営改善指導を実施している農業者を絞り込む。			

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	28年度新規参入者数	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数
	1 経営体	0 経営体	1 経営体
	28年度新規参入者が取得した農地面積	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積
	0.5 ha	0 ha	0.4 ha
課 題	農業従事者の減少、高齢化による耕作放棄地の増加が課題となっている。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和元年度の目標及び活動計画

参入目標数	1 経営体	参入目標面積	0.5 ha
活動計画	令和元年8月・令和2年1月:農業委員会だよりにより周知 令和元年11月:産業祭にて周知		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (平成31年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	808.8 ha	136.5 ha	16.9%
課 題	農業者の高齢化と後継者不足により、遊休農地が発生している。遊休農地発生防止の呼びかけと、早期発見に努めることが重要であり、速やかな所有者への指導が必要		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和元年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 2 ha		
	目標設定の考え方:前年の遊休農地面積を勘案して設定。		
活 動 計 画	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	20 人	8月～10月	11月～12月
	農地の利用状況調査	調査方法	
		<ul style="list-style-type: none"> 農地パトロールを含めた農地調査の実施 農地調査の結果を基に遊休農地台帳の整備と解消指導対象者を抽出 農地所有者に現地調査結果を通知し、農地の適正利用の指導と利用意向を確認 	
農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	11月	2月～3月	
その他	「上尾市農業委員会だより」や市のHP等での周知。		

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成31年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	706 ha	2.2 ha
課 題	残土等の不法投棄による違反が発生しており、農地への復元指導を行っている。また、同様の事案の発生を防止するため、農業者への周知や農地パトロールを実施し、違反転用防止に努めるとともに、新たな違反に対して早急な指導を行って農地への復元を図る。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和元年度の活動計画

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 違反転用者の是正指導。違反者に対し、是正の意向や是正までのスケジュール等、聞き取り調査。 違反転用の発生防止を「上尾市農業委員会だより」に掲載することにより、農業者への周知、農地パトロールの実施。
------	---

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入